（一社）沖縄県労働基準協会
中部支部
支部長 **金 城　稔**

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は支部運営につきまして沖縄労働基準監督署をはじめ、関係行政機関や関係団体及び協会本部のご指導、並びに会員の皆様のご協力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は年初から石川県能登地方を震源とする大きな地震が発生いたしました。

また、11月には沖縄本島北部に記録的豪雨による床上浸水や断水など、甚大な被害がありました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、沖縄県内の労働者の健康をめぐる状況については、職場での定期健康診断で何らかの異常が見つかる「有所見率」が2023年は前年比1.3ポイント減の70.8%で、13年ぶりに全国最下位を脱出しました。しかしながら依然として県内における有所見率が社会問題として顕在化していることを踏まえ当支部では、地区の会員の皆様の健康づくりにお役立ていただけるよう毎年「ウォークラリー大会」を開催しております。

事業部・中部支部職員

心身ともにリフレッシュできる、異業種で交流を深められると毎回好評をいただいております。今年もご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

今年の干支である乙巳（きのとみ）は「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持ち、多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高い年とされています。

当支部といたしましても、関係行政機関のご指導と会員の皆様のご支援、ご協力をいただき、支部活動の更なる充実を目指し、支部職員一丸となり取り組んでまいります。

結びに、皆様のご繁栄とご健勝、並びに各職場の無事故、無災害を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

「ご安全に!」

沖縄労働基準監督署
署 長 **比嘉　健三**

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、会員の皆様方におかれましては、労働基準行政の運営につきまして、格別の御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、能登半島を中心とした自然災害に見舞われ、世界的には戦争、紛争が常態化し、拡大するとの憂愁した1年でした。今年は、これら戦争、紛争が終焉し、平穏な日々が続くことを願います。

さて、昭和62年に40時間労働制が制定され、40年近くが経過し、ほぼ全業種について、その意識が浸透しつつあります。働き方を変えていくには、多大な労力と時間が必要であったことを痛感しています。

昨今の働き方も大きく変動しておりフリーランス法の施行と伴い、4月からは一人親方に対しても立入禁止等の安全措置が事業者に課せられますが、フリーランスに対するこれら安全衛生対策は今後も拡大されていくものと思われます。それは、働く場において災害を発生させないことが誰しもの共通した願いであり、労働者かフリーランスかの違いはなく、命を守るとの崇高な心からでしょう。事業主様におかれましては、危険、有害な職場環境の廃除のためリスクアセスメントを活用した安全衛生管理体制を構築し、死亡災害を発生させない対策が望まれます。当署としては、貴協会及び災害防止関係団体等と連携した活動と個別の現場臨検件数を増やことにより死亡災害ゼロを目指して粘り強く指導してまいりたいと思います。

沖縄労働基準監督署職員

結びに貴協会の発展と会員皆様の御健勝を祈念して、新年のご挨拶といたします。